

業績ハイライト

決算の概要（単体）

2期連続の増収増益

(単位：億円)

	27年3月期		26年3月期
		前期比	
経常収益	387	+8	379
業務粗利益 (a)	312	+10	302
経費 (b)	220	+3	217
実質業務純益 (c=a-b)	91	+6	85
ネット与信コスト (d)	15	△10	25
その他臨時損益 (e)	4	+1	3
経常利益 (f=c-d+e)	80	+17	63
当期純利益	42	+8	34

* 前期比増減は表上計算

決算の概要（連結）

単体の要因のほか、琉球リースの子会社化等により増収増益

(単位：億円)

	27年3月期		26年3月期
		前期比	
経常収益	550	+151	399
経常費用	454	+130	324
経常利益	95	+21	74
特別損益	5	△5	10
うち負ののれん発生益等	5	△6	11
当期純利益	55	+6	49

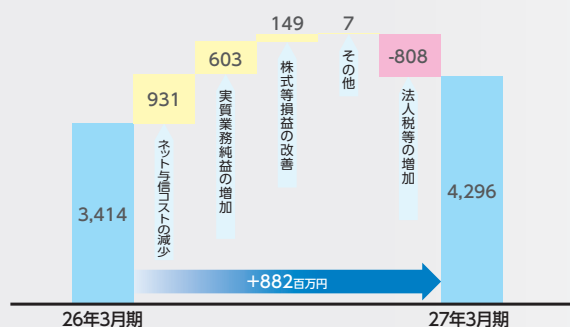
* 前期比増減は表上計算

当期純利益の増減要因（単体）

実質業務純益の増加、与信コストの減少等により増益

前期比増減要因

単位：百万円

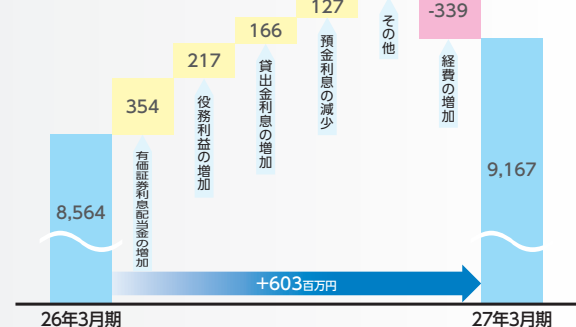


実質業務純益の増減要因（単体）

有価証券利息配当金の増加等により4期連続の増加

前期比増減要因

単位：百万円

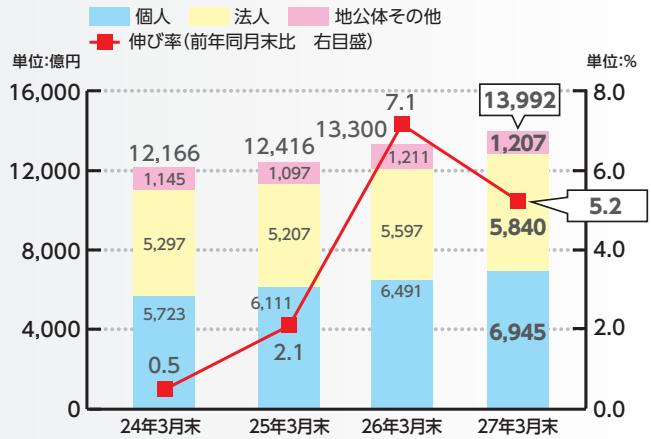


業績ハイライト

貸出金 (単体)

個人向け・法人向けとも順調に増加

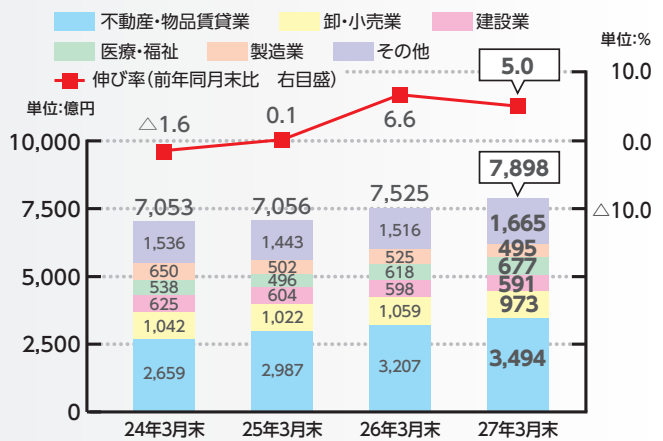
貸出金残高 (末残) の推移



事業性貸出金 (単体)

アパート資金等の不動産業向けや医療福祉向けを中心に増加

事業性貸出金 (末残) の推移

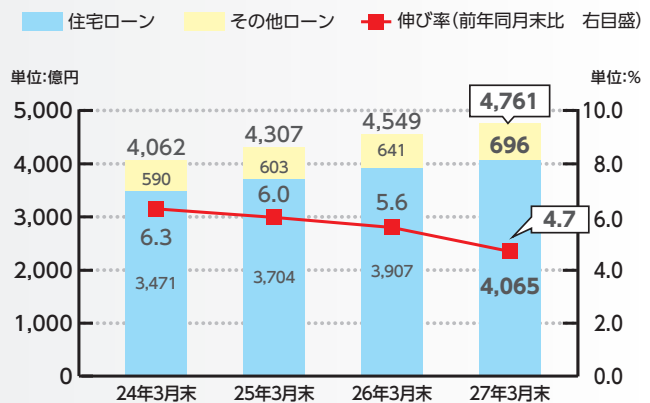


(注) 個人事業性貸出の取扱いが異なることから上記「貸出金 (単体)」の「法人」とは一致しない

消費者ローン (単体)

新商品の販売等により順調に増加

消費者ローン (末残) の推移

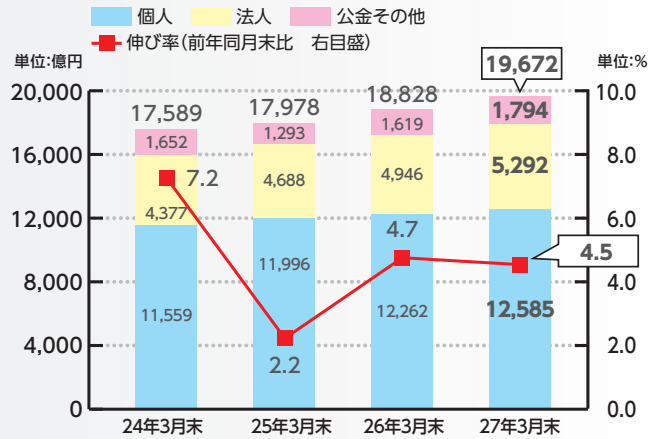


(注) 個人事業性貸出が含まれないことから上記「貸出金 (単体)」の「個人」とは一致しない

預金（単体）

個人・法人・公金ともに増加し、1兆9,000億円を突破

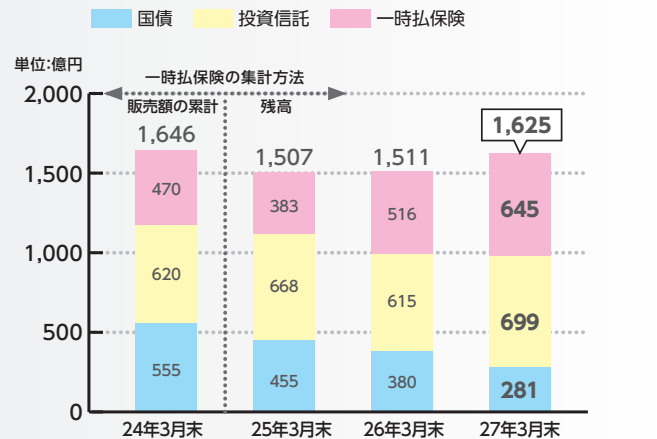
預金残高（末残）の推移



預かり資産（単体）

保険・投信の販売好調により預かり資産残高は増加

預かり資産残高の推移

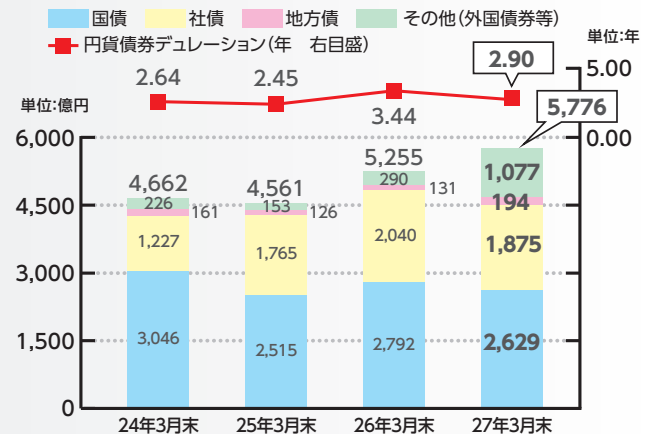


(注) 1. 一時払保険：一時払個人年金保険、一時払終身保険、一時払医療保険
2. 24年3月末以前と25年3月末以降とは、一時払保険の集計方法が異なるため単純に比較できない。

有価証券（単体）

運用を多様化しつつ残高を積み増し

有価証券残高（末残）の推移

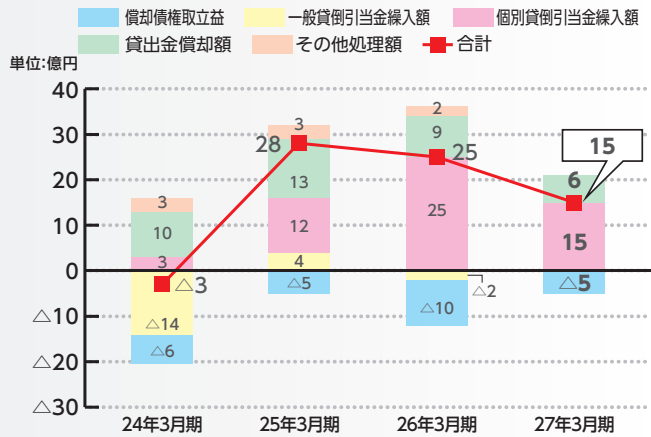


業績ハイライト

与信コスト (単体)

個別貸倒引当金繰入額の減少等により与信コストは減少

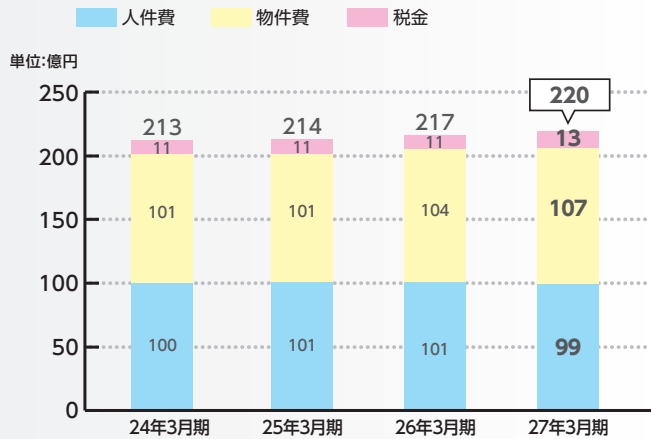
ネット与信コストの推移



経費 (単体)

コミュニケーションツール等のIT投資に伴い物件費が増加

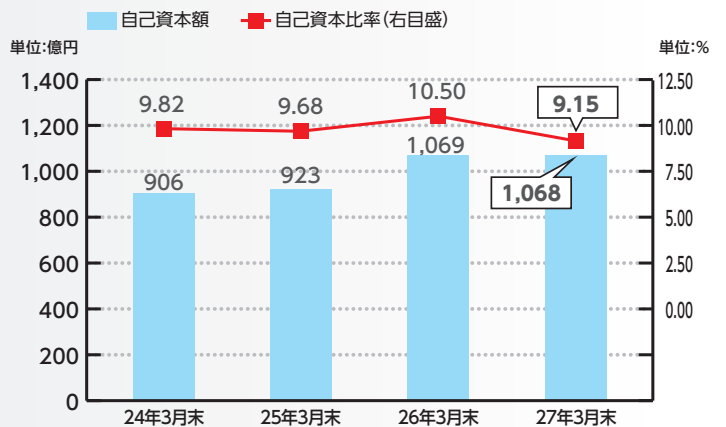
経費の推移



自己資本比率 (単体)

リスクアセットの増加により自己資本比率は低下

自己資本比率の推移



(注) 26年3月末よりパーゼルⅢ国内基準にて算出しております。

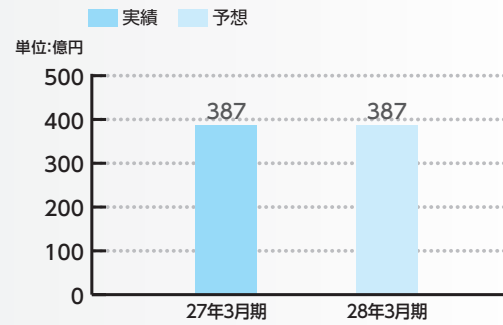
28年3月期業績の見通し(単体)

当期純利益は4期連続の増加を予想

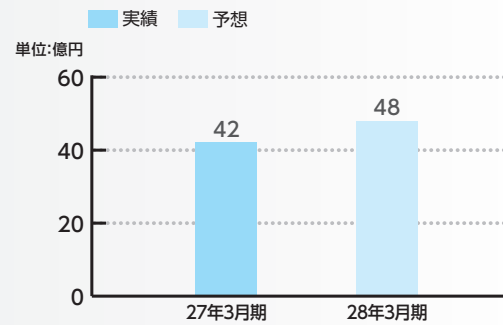
(単位：億円)

	28年3月期 予想	前期比	27年3月期 実績
経常収益	387	0	387
経常利益	73	△7	80
当期純利益	48	+6	42

経常収益の実績と予想



当期純利益の実績と予想



28年3月期業績の見通し(連結)

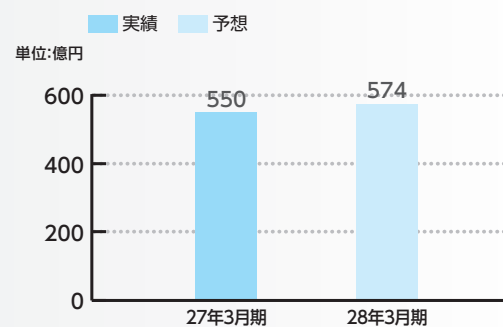
(株)OCSの子会社化により最終利益は大幅な増益を予想

(単位：億円)

	28年3月期 予想	前期比	27年3月期 実績
連結経常収益	574	+24	550
連結経常利益	89	△6	95
親会社株主に 帰属する 当期純利益	99	+44	55

*「親会社株主に帰属する当期純利益」は「企業結合に関する会計基準」の改正により従来の連結の当期純利益から変更されたものです。

連結経常収益の実績と予想



親会社株主に帰属する当期純利益の実績と予想

